



十中だより

4月号

令和7年4月12日
文京区立第十中学校
校長 南 英昭

令和7年度が始まりました

今年度は、桜の開花が例年より早く、入学式の日まで維持できるか心配されましたが、皆さんの進級や入学式を待っていてくれたかのように、始業式や入学式では、きれいな正門の桜が出迎え、祝ってくれました。

《入学式》

4月8日（火）に第78回入学式が挙行され、74名の新入生を迎えて、3学年揃っての新たなスタートをきることができました。入学式では、70年以上受け継がれてきた本校の校訓「自主協調」について改めて話をしました。校訓の歴史や意味について説明し、校訓が制定された当時の理念の中にある「明朗闊達」という言葉についても解説しました。本校生徒の「明るく朗らかで、心が広くおおらかで温かい雰囲気」はこの「明朗闊達」に由来して、今でもしっかり受け継ぎ、大切にしていることを会場の皆さんにも伝えさせてもらいました。今後も全校生徒で伝統を守りつつ、皆で協力して、さらなる発展を目指していきましょう。



《新入生歓迎会》

4月11日（金）の午後に生徒会が中心となって企画した新入生歓迎会が、開催されました。新入生が十中に早く慣れ、困らないように、各団体から丁寧な説明がありました。中学校生活や委員会活動、部活動等を

わかりやすく、様々な表現方法で披露し、新入生にとって楽しみながら深く理解することができる場となりました。2・3年生は、短い期間の中でしっかり準備し、有意義な空間を演出してくれました。十中生の良さが発揮された、素敵で和やかな歓迎会となりました。

